



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月5日

上場会社名 株式会社ベルパーク

上場取引所 東

コード番号 9441

URL <https://www.bellpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石川 洋

TEL 03-3288-5211

四半期報告書提出予定日 2020年8月5日

配当支払開始予定日 2020年9月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	47,406	△7.7	3,421	44.7	3,430	44.1	2,368	47.9
2019年12月期第2四半期	51,378	6.2	2,364	24.6	2,380	24.5	1,601	27.1

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 2,368百万円 (48.4%) 2019年12月期第2四半期 1,595百万円 (26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	369.30	—
2019年12月期第2四半期	249.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	42,468	25,738	60.6	4,013.09
2019年12月期	43,572	23,889	54.8	3,724.78

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 25,738百万円 2019年12月期 23,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	38.00	—	81.00	119.00
2020年12月期	—	61.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	61.00	122.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	△7.1	4,000	△8.6	4,000	△8.7	2,600	△14.5	405.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	6,732,600株	2019年12月期	6,732,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	318,997株	2019年12月期	318,997株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	6,413,603株	2019年12月期2Q	6,413,697株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、以下の通りオンライン形式で決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）を開催いたします。説明会の資料は、本日中に当社ウェブサイトに掲載する予定です。説明会のQ&Aにつきましても、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

・2020年8月6日（木）・・・・・・オンライン決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～同年6月30日)におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦による国際経済情勢の不安定化や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う急速な社会情勢の変化により、今後の先行きは極めて不透明な状況となっております。

当社グループの主な事業領域であります携帯電話等販売市場は、2019年10月施行の電気通信事業法の改正に伴い、携帯電話利用者の利益の保護を目的に通信料金と端末代金が完全分離され、端末代金の値引きに関する規制がなされました。2020年3月下旬には大手通信事業者3社から、高速・大容量が特徴の次世代通信規格「5G」の商用サービスが開始されました。また、キャリアショップでは新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、各通信事業者の方針に基づき、お客様や従業員の安全と安心の確保を最優先とし、他人との接触機会を8割削減させるという日本政府の基本方針を踏まえ、様々な予防措置が講じられました。

このような事業環境において、当社グループは、「3G」サービス終了に伴う「4G」サービスへの移行促進、「学割」サービス、光回線、電気、キャッシュレス決済といった多様なサービスの提供等に注力するとともに、効率的な店舗運営を目的としたドミナント化を推進し、当社近接店舗との連携を強化しました。

当第2四半期連結累計期間における携帯電話等の販売台数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年同期と比較して減少しましたが、売上高総利益率の高い光回線、キャッシュレス決済等の携帯電話以外の商材が好調に推移いたしました。

販売費及び一般管理費については、店舗数の増加に伴い人件費及び家賃等が増加しましたが、電気通信事業法の改正に伴う端末代金の値引き規制により販売促進費が大幅に減少しました。さらに間接部門では、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とした在宅勤務を推進するとともに、会議、研修、採用業務等のオンライン化により業務の効率化を急速に進めたことにより、交通費や残業代等様々なコストが減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高47,406百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益3,421百万円(同44.7%増)、経常利益3,430百万円(同44.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,368百万円(同47.9%増)となりました。

[ご参考：キャリア認定ショップ数]

当社グループが運営するキャリア認定ショップ数は、2020年6月末時点で356店舗となりました。

(2020年6月末時点)

	直営店	フランチャイズ	計
ソフトバンクショップ	242	58	300
ドコモショップ	8	-	8
auショップ	7	-	7
ワイモバイルショップ	33	8	41
合計	290	66	356

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、42,468百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,103百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,099百万円増加した一方で、売掛金が1,689百万円、たな卸資産が635百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、16,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,952百万円減少しました。これは主に、買掛金が2,029百万円、その他流動負債が1,176百万円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、25,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,849百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,368百万円による利益剰余金の増加、前連結会計年度決算に係る期末配当の実施による利益剰余金の減少519百万円によるものであります。

また、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ5.8ポイント上昇し、60.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想数値に対する第2四半期連結累計期間の実績の進捗率は、売上高49.4%、営業利益85.5%、経常利益85.8%、親会社株主に帰属する当期純利益91.1%となり、特に各利益項目で高い進捗率となっておりますが、2020年7月27日付「2020年12月期 第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表したとおり、当社の主要商圏で新型コロナウイルス感染者の増加が見られる等、外出の自粛や緊急事態宣言の再発令等で販売台数が大きく減少する可能性等を考慮し、2020年2月12日付「2019年12月期 決算短信」で公表しました通期連結業績予想及び配当予想については、変更せずに当初の予定どおりといたします。

なお、新型コロナウイルス感染症による業績への影響については注視を続け、今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,345,930	22,445,437
売掛金	10,968,337	9,279,073
たな卸資産	5,316,659	4,681,348
その他	456,820	425,012
流動資産合計	38,087,747	36,830,871
固定資産		
有形固定資産	1,780,791	1,851,288
無形固定資産		
のれん	501,892	442,669
その他	71,192	114,276
無形固定資産合計	573,084	556,945
投資その他の資産		
敷金	1,967,821	2,066,425
その他	1,186,836	1,191,022
貸倒引当金	△23,413	△27,571
投資その他の資産合計	3,131,245	3,229,876
固定資産合計	5,485,120	5,638,111
資産合計	43,572,868	42,468,983
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,404,103	7,374,514
未払法人税等	1,029,670	1,218,805
1年内返済予定の長期借入金	—	5,014,802
賞与引当金	337,409	366,681
その他	3,211,648	2,035,362
流動負債合計	13,982,832	16,010,165
固定負債		
長期借入金	5,014,802	—
退職給付に係る負債	7,345	7,345
資産除去債務	466,761	496,741
その他	211,877	216,391
固定負債合計	5,700,786	720,477
負債合計	19,683,618	16,730,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,322	1,148,322
資本剰余金	1,872,489	1,872,489
利益剰余金	21,479,691	23,328,739
自己株式	△611,515	△611,515
株主資本合計	23,888,987	25,738,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	304
その他の包括利益累計額合計	262	304
純資産合計	23,889,250	25,738,340
負債純資産合計	43,572,868	42,468,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	51,378,687	47,406,081
売上原価	39,114,392	35,039,620
売上総利益	12,264,295	12,366,460
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,713,638	497,507
給料	3,174,894	3,332,962
雑給	77,976	72,933
賞与引当金繰入額	328,825	366,681
退職給付費用	142,169	135,310
地代家賃	1,230,558	1,314,794
その他	3,231,450	3,225,164
販売費及び一般管理費合計	9,899,512	8,945,353
営業利益	2,364,783	3,421,106
営業外収益		
物品売却益	265	1,128
店舗出店等支援金収入	801	15,700
投資事業組合運用益	8,031	—
助成金収入	6,412	427
その他	5,056	3,494
営業外収益合計	20,566	20,751
営業外費用		
支払利息	3,895	3,945
貸倒引当金繰入額	—	4,158
投資事業組合運用損	—	2,052
その他	1,007	939
営業外費用合計	4,903	11,094
経常利益	2,380,446	3,430,763
特別利益		
受取補償金	24,575	—
固定資産売却益	1,299	20,010
受取保険金	—	24,996
災害見舞金	—	20,435
特別利益合計	25,874	65,442
特別損失		
減損損失	2,847	—
店舗等撤退費用	6,024	7,083
その他	125	—
特別損失合計	8,997	7,083
税金等調整前四半期純利益	2,397,323	3,489,122
法人税、住民税及び事業税	823,083	1,112,136
法人税等調整額	△27,064	8,437
法人税等合計	796,018	1,120,573
四半期純利益	1,601,304	2,368,549
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,601,304	2,368,549

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,601,304	2,368,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,644	42
その他の包括利益合計	△5,644	42
四半期包括利益	1,595,659	2,368,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,595,659	2,368,592

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,397,323	3,489,122
減価償却費	148,239	137,306
のれん償却額	61,263	81,722
減損損失	2,847	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△150	4,158
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32,567	29,271
受取利息及び受取配当金	△131	△270
支払利息	3,895	3,945
受取補償金	△24,575	-
受取保険金	-	△24,996
災害見舞金	-	△20,435
投資事業組合運用損益 (△は益)	△8,031	2,052
売上債権の増減額 (△は増加)	2,474,658	1,689,264
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,460,172	670,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,790,788	△2,029,589
未払金の増減額 (△は減少)	57,611	△282,552
未払消費税等の増減額 (△は減少)	680,227	△632,575
その他	149,317	△226,573
小計	5,644,447	2,890,491
利息及び配当金の受取額	140	140
利息の支払額	△3,876	△3,926
補償金の受取額	24,575	-
保険金の受取額	-	26,617
災害見舞金の受取額	-	20,435
災害損失の支払額	-	△6,027
法人税等の支払額	△386,679	△920,557
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,278,605	2,007,173
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△180,717	△151,778
無形固定資産の取得による支出	△22,911	△32,255
事業譲受による支出	△495,461	△129,593
貸付けによる支出	-	△10,000
貸付金の回収による収入	2,835	4,929
敷金の差入による支出	△168,236	△156,216
敷金の回収による収入	44,567	44,843
投資事業組合からの分配による収入	11,221	-
その他	△24,809	41,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△833,512	△388,753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△82	-
配当金の支払額	△237,157	△518,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237,239	△518,912
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,207,853	1,099,507
現金及び現金同等物の期首残高	14,872,542	21,345,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,080,395	22,445,437

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。